

第6回九州チャレンジ・ワークショップ ～2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連の調達について～ 開催結果概要

九州・沖縄地方産業競争力協議会（大規模国際スポーツイベント活用分科会）では、2020年を一つのビジネスチャンスと捉え、今後の事業展開を検討する事業者や自治体の取組を促進するため、様々な事業機会の獲得に向けた情報の提供等を目的とするセミナーを開催しています。

今回は、農産品のオリンピック・パラリンピック調達やGAP取得の意義等をテーマに、九州農業成長産業化連携協議会が主催する「農業の未来と可能性を学ぶ人材育成講座」と合同で開催し、特に、大会関連調達者が考える購買基準・優先順位や、GAP取得により広がるビジネス機会について具体的なお話を頂きました。

<開催概要>

1. 日 時：2018年12月21日（金）13:00～16:20
2. 場 所：グランメッセ熊本 中会議室（熊本県上益城郡益城町福富1010）
3. 対象者：2020年を契機とした新規事業等に関心を有する事業者、経済団体、自治体等
4. 参加者：約80名
5. プログラム：
 - (1) 農産品のオリンピック・パラリンピック調達について（60分）
（公財）東京都中小企業振興公社 事業戦略部 中小企業世界発信プロジェクト事務局
主任 磯 譲二 氏／発注コーディネータ 牟田 実 氏
 - (2) GAP取得の意義について（60分）
特定非営利活動法人（NPO法人）GAP総合研究所 専務理事 武田 泰明 氏
 - (3) 熊本県の取組み（10分）
熊本県農林水産部農業技術課 課長補佐 大村 誠 氏
 - (4) 国の支援策について（20分） 九州農政局、九州経済産業局
 - (5) 質疑応答・名刺交換（30分）



東京都中小企業振興公社
磯 譲二 氏



牟田 実 氏



GAP総合研究所
武田 泰明 氏



熊本県農林水産部
大村 誠 氏



会場の様子